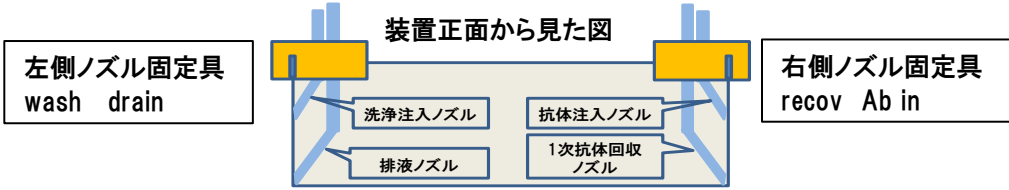


# Auto Western Mini 簡易マニュアル

## 自動抗体反応運転

MODE 選択	1	「MODE」ツマミで以下のプログラムから選択 P1:①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応1時間→洗浄、③2次抗体反応1時間→洗浄 P2:①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応2時間→洗浄、③2次抗体反応1時間→洗浄 P3:①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応12時間→洗浄 P4:①ブロッキング1時間→洗浄、③1次+2次抗体反応1時間→洗浄 P5:③2次抗体反応のみ1時間→洗浄	動作時間の目安 / 3時間45分 / 4時間45分 / 13時間25分 / 2時間30分 / 1時間25分
	2	装置流路がきれいであることを確認	
準備	3	タンパク質を転写したメンブレンを用意し、10~20mLのブロッキング液が入った反応容器に入れる。 * P5モードで稼働させる時は、10~20mLの洗浄液が入った反応容器に入れる。	
	4	1次、2次抗体溶液を遠沈管等に入れ、注入用の各専用チューブをセットする。 1次抗体回収用チューブは、1次抗体の容器にセットする。	
	5	洗浄液(TBS-T等)を1Lをボトルに用意し、洗浄液用チューブをセットする。	
	6	排液用ボトル(2L程度)を準備し、排液用チューブをセットする。	
	7	反応容器を振盪台の上に置き、左右のノズル固定具を反応容器にセットする(下図参照)。 長いノズル→容器の底に接地、短いノズル→容器の側面に接地 【注意】必ず、ノズル固定具の左右が正しいかを確認してください。	
			
	8	電源スイッチをONにする。	
9	「SPEED/min」のツマミで振盪速度セットする。(稼働後に変更可能)		
自動運転	10	「MODE」で正しいプログラムが選択されていることを確認し、「START」ボタンを押す。	
	11	ブザーが鳴り、運転終了。メンブレンを反応容器から取り出して検出等を行う。	
	12	回収された1次抗体溶液を冷蔵等の適切な条件で保存する。	
	13	使用後に必ず自動洗浄モード(AW)による洗浄を行ってください。	

## 自動洗浄モード(AW)

自動洗浄 モード	1	一度電源スイッチをOFFにし、再びONにする。
	2	洗浄液、1次抗体、2次抗体の送液用チューブの合計3本を、約250mLの洗浄液が入った洗浄用ボトルにを入れる。
	3	廃液チューブと1次抗体回収用チューブは、廃液ボトルに入れる。
	4	「MODE」ツマミを「AW」にセット。「START」ボタンを押し、流路の自動洗浄を開始する。ブザーが鳴り、1次洗浄が終了。
	5	一度電源スイッチをOFFにし、再びONにする。
	6	洗浄液、1次抗体、2次抗体の送液用チューブの合計3本を、約250mLの蒸留水が入った洗浄用ボトルにを入れる。
	7	「START」ボタンを押し、流路の自動洗浄を開始する。ブザーが鳴り、2次洗浄が終了。
	8	電源スイッチをOFFにする。

## 振盪モード(SW)

振盪 モード	1	振盪台に反応容器を置く。
	2	電源スイッチをONにし、「MODE」ツマミをSWにセット
	3	振盪速度調節ツマミをセット。STARTボタンを押す。(振盪中に速度調節可能)。 STARTボタンをもう一度押すと一時停止。再開する時はもう一度押す。
	4	使用後、電源スイッチをOFFにする。